区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床病理学総論	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	南　惣一郎	実務経験	(有) 無	実務経験内容	昭和56年5月26日臨床検査技師免許取得、昭和56年4月1日から現国立大学法人長崎大学病院検査部へ勤務している。この間、臨床化学検査、血液凝固検査、微生物検査、輸血検査、遺伝子検査に従事した。同時に医学部学生ポリクリ指導、研修医指導、薬学部学生実習指導、糖尿病療養士指導、栄養学科学生指導、臨床検査技師臨地実習指導等も行なった。

授業の目的・目標

①疾患の成因、病態像、特徴的症状について学び、疾患に関する総合的知識を深める。
②各疾患の診断・治療・予後判定に必要な臨床検査の知識を習得し、臨床検査の意義と重要性を理解する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

テキストに沿って、各章ごとに捕捉説明を加えながら講義を進める。
授業ごとに振り返りを行うことで理解を深める。

テキスト・参考資料等

臨床検査学講座
臨床医学総論／臨床検査学総論（医歯薬出版）

授業計画	講師
1. 内分泌疾患	南　惣一郎
2. 腎・尿路・男性生殖器疾患、女性生殖器疾患、	南　惣一郎
3. 神経・運動器疾患、アレルギー性疾患	南　惣一郎
4. 代謝・栄養障害、感覚器疾患、中毒、	南　惣一郎
5. 染色体・遺伝子異常症、皮膚および乳腺の疾患、	南　惣一郎
6. 臨床検査の意義－検査情報の活用、臨床診断学総論、	南　惣一郎
7. 2年生前期の振り返り	南　惣一郎